令和３年度　第１回千葉市中央区公民館運営審議会議事録

１　日　　時　令和３年７月７日（水）１４時００分～１５時２１分

２　場　　所　千葉市松ケ丘公民館　２階 講堂

３　出　席　者（委　員）

伊藤（正）委員長、飯島 副委員長、甘利 委員、伊藤（芳）委員、大内 委員、
大野 委員、鎮守 委員、都築 委員、久松 委員、桝田 委員、吉川 委員、
若海 委員

（事務局）

生涯学習振興課：課長 小倉、主査 積田、主任主事 寺村

教育振興財団：公民館管理室長 小林、同室主事 石山
松ケ丘公民館長 大塚、生浜公民館長 石川、新宿公民館長 迎、
宮崎公民館長 桶田、葛城公民館長 平野、末広公民館長 大井、
椿森公民館長 元島、川戸公民館長 藤沢、星久喜公民館長 柿沼、
松ケ丘公民館副館長 川口、同館主事 積田

４　議　　題

（１）　報告事項

ア　令和２年度千葉市中央区公民館利用状況について

イ　令和２年度千葉市中央区公民館事業報告について

（２）協議事項

ア　令和４年度千葉市中央区公民館事業計画について

（３）その他

５　議事の概要

（１）　報告事項

ア　令和２年度千葉市中央区公民館利用状況について

各公民館の利用人数、利用回数、前年との比較について報告した。

また、生浜公民館図書室の利用状況などを報告した。

イ　令和２年度千葉市中央区公民館事業報告について

各公民館の主催事業及び中央区事業の実施内容、受講状況等を説明した。

（２）協議事項

ア　令和４年度千葉市中央区公民館事業計画について

各委員から意見や提案、質問等を伺った。

（３）その他

特になし

６　会議経過

・開会

・委員１３名中１２名の出席があり、千葉市公民館管理規則第１６条第１項に規定されている過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立

・千葉市情報公開条例第２５条に基づき会議を公開（傍聴者なし）、議事録も公開

・委員長挨拶

・生涯学習振興課長挨拶

・委員長による議事進行

松ケ丘公民館長が、「（１）報告事項　ア　令和２年度千葉市中央区公民館利用状況について」、会議資料に添って全般的な利用状況、利用回数及び利用者数について説明した。また、生浜公民館図書室の貸出し状況等についても説明した。特に質問、意見等はなかった。

松ケ丘公民館から、生浜、新宿、宮崎、葛城、末広、椿森、川戸、星久喜公民館の順で、「（１）報告事項　イ　令和２年度千葉市中央区公民館事業報告について」、順次説明した。

甘利委員　　感染防止のため各公民館とも予定講座の中止が多かった中で、宮崎公民館は他に比べて講座の実施率が５割以上と高かったのは、何か努力した要因があるのか。

宮崎館長　　中止とした講座の代替として９講座を増やしたことが要因と考えている。
　コロナの感染症に注意し、どんなことが出来るかを常に考え、情報収集をしながら実施したのが結果に繋がった。

甘利委員　　コロナ禍の中で、多数の講座を実施したことは称賛に値すると思う。

大野委員　　講座の中止は、まん延防止や緊急事態宣言が出た時に行うのか。講座を申込んでも次々に中止になるのは、大変切ないことだと思う。なんとか公民館として、開催する方向で考えていただきたい。

伊藤委員長　　公民館は、市に準じることが非常に多い。私がやっている社協地区部会は、別行動で行っているので、制限や約束を守りながら実施している。

松ケ丘館長　　主催講座の実施の可否については、必ずしもまん延防止や緊急事態宣言と連動しているわけではないが、実施に制限がかかる場合がある。昨年度は、６月まで中止で７月から実施したが、今でも実施には制限があり、調理・飲食を伴う講座の実施は不可となっている。その他、講師の都合で中止とする場合もある。

桝田委員　　コロナ禍で非常に厳しい中、各公民館とも工夫して主催講座を実施したことは評価できる。また、講座の実施に伴い、そこから新しいサークルが出来たことは非常に良かったと思う。

都築委員　先日星久喜公民館の運営懇談会で話題になったが、講座の申し込みは、現在は先着順が多いようだが、応募が定員を超える講座は、今後は抽選になると聞いた。どういう形で受講者を決めていくのか。また、抽選にした場合は、兄弟や親子が一緒に受講できないケースが出てくるのではないか。講座の募集について千葉市の公民館として、今後、どのような形を取っていくのか知りたい。また、抽選結果は、どのように通知するのか考え方を聞きたい。公民館情報誌６・７月号を見る限りでは、現在はほとんどの講座が先着順で、市として今後抽選に切り替えた場合、市民にどのように周知するのか併せて伺いたい。

公民館管理室長　先着順では、スマホや歴史講座などの人気が高い講座は、すぐに定員に達してしまう。しかも、公民館は電話も１回線のため繋がらないことが多く、電話をかけ続けてやっとで繋がった時には、すでに定員オーバーのことが多いので、苦情をいただくことも多い。したがって、公民館情報誌や市政だよりなどに掲載して、今年度の秋ごろから市内全館で抽選制を導入したいと考えている。

申し込み方法や抽選結果の連絡は、窓口や往復はがき、電話、メールなどの方法を考えている。

松ケ丘館長　公民館の講座の申込みは、現在は多くが先着制で電話も１回線のため繋がりにくく、問題であることは公民館職員も認識している。先ほど、公民館管理室長も話したとおり、今後は抽選制を基本にすべく、そのメリット・デメリットを精査したうえで導入したいと考えている。

都築委員　話の内容は理解した。抽選制へ切り替えにあたって市民への周知を徹底してほしい。公民館情報誌は回覧板で回ってくるため、見る人と見ない人がいる。一方で市政だよりは配布のため見ている人が多いので、公民館のページに目立つ形で掲載していただきたい。もう一つは、抽選方法については、市内公民館である程度統一して実施していただきたい。

伊藤委員長　松ケ丘公民館の夏休み子ども講座の応募状況を教えてほしい。

松ケ丘館長　夏休み子ども教室については、近隣小学校４校（松ケ丘・仁戸名・大森・川戸小学校）に児童数分のチラシを配布して先着制で申し込んでいただいている。人気のある講座とない講座があり、定員を超えた場合は補欠として受入れているが、補欠もいっぱいの場合は断っている状況にある。

各委員から、「（２）協議事項　ア　令和４年度千葉市中央区公民館事業計画について」、意見や提案、質問等を伺った。

桝田委員　長い間この会議に参加しているが、青少年の講座は増加したように思う一方で、講座が固定してきたようで新鮮味がなくなってきた気がする。講座については、公民館同士で協力して実施してほしい。その他、高齢者のサークルが減っていっているため、新規サークルの立ち上げのきっかけになる講座も実施してほしい。

伊藤委員長から、発言された意見等は、次年度の公民館事業計画の際に検討してほしい旨の発言があった。

「（３）その他」については、各委員から発言は無かった。

事務局が次回の開催が３月頃を予定していることを告げ、閉会した。

問い合わせ先
千葉市教育委員会生涯学習振興課
℡　043-245-5954